



そでいか小笠原諸島周辺海域

評価対象種：ソデイカ（小笠原諸島海域）

令和8年4月

資源の水準と動向「高位・横ばい」

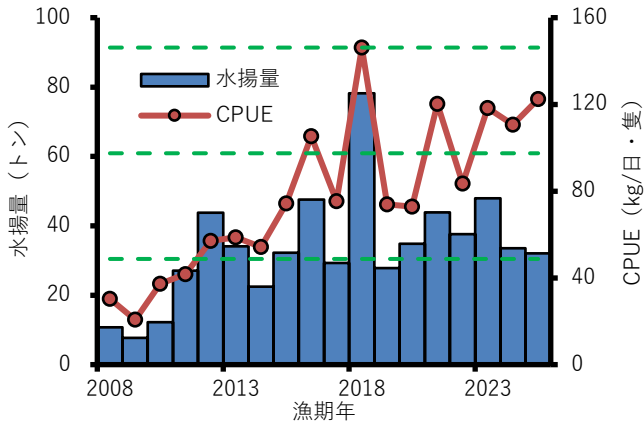


図1 水揚量とCPUEの推移

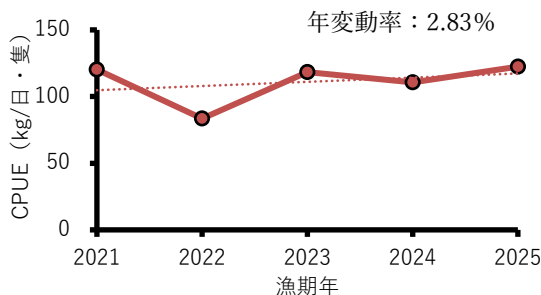


図2 立縄釣CPUEの年変動率

2008年以降の小笠原諸島海域におけるソデイカの水揚量は増加傾向を示し、2017年に最大値の78トンとなり、その後は28～48トンで推移した（図1）。CPUE（立縄釣漁業1日1隻あたりの水揚量）は、2009年以降増加傾向を示し、直近5年間は83.5～122.4 kg/日・隻で推移した（図1）。

本資源評価票での資源量指標値はCPUEとした。2025年における資源の水準は、CPUEが最大値となった2018年の146.2 kg/日・隻の2/3以上である122.4 kg/日・隻のため「高位」とした（図1）。

資源の動向は、直近5年間のCPUEから算出した年変動率が2.83%であり、年間±5%以上の増減でないため「横ばい」とした（図2）。

生態学的特性

- 分布・回遊：小笠原諸島海域、黒潮流域、同反流域および対馬海流系海域に分布する [1](#)。
- 年齢・成長：軟甲計数線と外套長の関係式や平衡石解析結果から、寿命は約1年で外套長約80cmに成長すると推定される [2](#) [3](#)。
- 成熟・産卵：小笠原諸島海域においては、浮遊卵塊が2～6月に確認されるため、この時期に産卵すると推察される [1](#)。
- 被捕食関係：ハダカイワシ科の魚類やホタルイカモドキ等の頭足類を中心に捕食する。また、メカジキやメバチ等に捕食される [1](#)。

東京都におけるソデイカ漁

- 漁業：主に小笠原諸島海域で漁獲され、最盛期は11～3月である。
- 漁法：立縄釣により漁獲される。
- 管理：父島および母島では、そでいか漁業で漁獲される本資源について東京都資源管理方針に基づく資源管理協定を策定し、自主的資源管理（禁漁期間の設定）に取り組んでいる。

- 1) [安藤和人・錦織一臣・土屋光太郎・木村ジョンソン・米沢純爾・前田洋志・川辺勝俊・垣内喜美男. 2004. 小笠原諸島海域におけるソデイカの漁業生物学的特性. 東京都水産試験場調査研究報告, \(213\) : 1-22.](#)
- 2) 高山 剛・安藤和人・錦織一臣・瀬川 進・土屋光太郎. 1999. ソデイカ軟甲上の成長線に関する研究 (要旨). 平成9年度いか類資源研究会議報告 : 40-42.
- 3) Chingiz, M. N., A. I. Alexander and S. M. Rushan. 1995. Age, growth and reproductive biology of diamond-shaped squid *Thysanoteuthis rhombus* (Oegopsida: Thysanoteuthidae). Marine Ecology Progress Series, 124 : 73-87.